

リビングラボ創出検討会趣意書

北大阪医療健康都市（健都）は、国立循環器病研究センター及び医薬基盤・健康・栄養研究所を核として、ヘルスケア関連の研究所等が立地し、また近隣には商業店舗や住宅が立地する健康・医療の産業拠点です。

このような健都の特長を活かし、住民の健康づくりにつながる優れた製品・サービスを開発し、社会に送り出すためには、製品を開発する企業・研究機関と、製品のユーザーとである地域の住民・事業者等の連携が必要です。このような連携の仕組みの1つとして挙げられるのが、日常生活（リビング）を研究の場（ラボ）として活用する「リビングラボ」です。

この度、健都における産学官民のオープンイノベーションの促進を目的に「健都万博」を開催するとともに、健都におけるヘルスケア分野のリビングラボの創出をめざして、その形成と運用について地域の住民や事業者を中心に検討する「リビングラボ創出検討会」を設立する運びとなりました。

皆様には、本検討会の設立趣旨にご賛同いただき、検討会にご参加、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

目次

1. 活動概要
2. 参加対象
3. 活動期間
4. 活動内容
5. 参加方法

<補足>

- ・北大阪健康医療都市（健都）とは
- ・「健都万博」とは
- ・「リビングラボ」とは

1. 活動概要

健都にリビングラボを形成し、健康・医療の優れた製品・サービスを創出することを目的に、健都らしいリビングラボのあり方や、企業等との共創で解決したい健康課題等について、地域の住民や事業者が中心となって議論します。

また、「健都万博」で実施する実証事業や展示会について、企画段階からその効果的な実施方法について提言等を行うとともに、実際に健都を活用した実証事業に参加します^{※注1}。加えて、その実施内容や成果について発表し、その成果を広く地域に還元します。

これらの活動の実施にあたっては、テーマ型検討会^{※注2}と連携します。

2. 参加対象

健都における、地域住民の健康課題を解決するリビングラボの創出に関心がある方。

(想定する参加者)

- ①健都周辺に事業所、施設や店舗を置く事業者等
- ②健康をテーマとした市民活動団体・当事者組織、住民組織等
- ③健康づくりやヘルスケア企業との共創に関心をもつリビングラボの研究者・実践団体
- ④健康やリビングラボに関心ある市民

3. 活動期間

2025年4月から2026年3月まで

4. 活動内容

(1) 定例会

①概要

健都におけるリビングラボのあり方について、地域の住民や、地域に施設や店舗を置く事業者等を中心に、企業や研究機関も交えて意見交換や議論をします。

また、(2) から (4) の活動についての連絡や意見交換についても、定例会で行います。

②会員の役割

健都の特長を活かした効果的かつ持続可能なリビングラボのあり方について、それぞれの視点から意見・提案をします。

③場所

第1回…健都エリア内の会議室等(予定)

第2回以降…オンライン(予定)

※参加者の希望を踏まえ決定します。

④日程

活動期間中、概ね月1回程度実施。

※詳細は参加者の希望を踏まえ決定します。

※第3回以降は、テーマ型検討会と合同で実施する場合があります。

(2) 実証デモ

①概要

健都万博の一環として、健都に適した実証事業のあり方を検討するため、テーマ型検討会・リビングラボ創出検討会の協力のもと、小規模な実証事業を模擬実施します。

実施後、参加者のフィードバックを踏まえた振り返りを行うことで、健都の特長を活かした実証の手法を構築し、ノウハウを蓄積します。

②会員の役割

企画段階において、定例会での議論に参加し、どのような実証事業であれば参加しやすいか、意見や提案をします。また、会員自身が実証に活用できる施設や設備等を有している場合は、任意により、それらを活用した実証の実施に協力します。

実証デモ当日は、実際に実証実験に参加して出展された技術に対するフィードバックを出展者に提供するとともに、実証の実施手法についての振り返りを事務局とともに行い、より効果的な実証手法の構築をめざします。

③実施場所

健都内の施設、店舗等

④実施日程

2025年7月28日~8月30日にかけて、3つのテーマで各1回、計3回の実施を想定。

開催期間は1回につき約半日を想定。

※詳細は参加者の希望を踏まえ決定します。

※いずれかのテーマのみへの参加も可能です。

(3) 体験会

①概要

健都万博の一環として、テーマ型検討会に参加する企業等が保有する技術の体験会を実施します。地域住民をはじめとする多くの人に最先端のヘルスケア技術に触れる機会を提供し、その有用性を体感してもらうとともに、企業等がユーザーである市民から直接フィードバックを得る実証の場とすることで、企業等の製品開発や社会実装を支援します。

②会員の役割

企画段階において、定例会での意見交換に参加し、どうすればより多くの市民にとって参加しやすい体験会になるか、実証デモの参加経験を活かして、意見や提案をします。

また、体験会当日に参加し、出展された技術に対するフィードバックを出展企業に提供します。

③実施場所

健都内の施設、店舗等

④実施日程

2025年9月1日~9月20日にかけて、3つのテーマで各1回、計3回の実施を想定。

開催期間は1回につき約半日を想定。

※詳細な日程は参加者の希望を踏まえ決定します。

※いずれかのテーマのみへの参加も可能です。

(4) 展示会

①概要

健都万博の集大成として、万博出展技術をはじめとする約 50 種のヘルスケア関連の技術展示を行うとともに、出展者との商談機会を提供することで、その社会実装を促進します。

また、検討会の活動の成果発表を行うことで、健都での共創の可能性を強く発信します。

②会員の役割

展示会会場において、検討会の活動及び成果について展示・発表を行います。

③実施場所

健都エリア内の催事用ホール（予定）

④実施日程

2025 年 9 月 26 日（金）

5. 参加方法

（1）募集期間

2025 年 5 月 20 日（火）～6 月 10 日（火）

※活動スケジュールを踏まえ募集期間を定めていますが、終了後であっても引き続き申し込みを受け付けます。

（2）申込方法

株式会社 新産業文化創出研究所（本検討会事務局の構成団体）の WEB サイトから申込
<https://icic.jp/kentobanpaku2025/>

<申込み時に入力する事項>

- ①申込者氏名
- ②所属団体名
- ③連絡先（電話番号、メールアドレス）
- ④事業概要（事業活動の目的、対象、活動の概要）
- ⑤関心あるテーマ領域
- ⑥本検討会への参加の動機
- ⑦本検討会で実施したいこと
- ⑧提供可能な経営資源（実証デモ、体験会等の実証環境など）

* 実証環境：実証する場所、施設、人員など

※事業者（法人・個人を問わない）または団体として参加する場合は、①～⑧を入力。

個人として参加する場合は、①、③、⑤、⑥を入力。

（3）審査

本検討会参加にあたって、事務局で審査を行います。審査結果は、2025 年 6 月 16 日（月）までに

申込時に入力したメールアドレスにお知らせします。

注記

注1 健都万博

健都万博で実施する各種イベントについては、大阪府より委託を受けた健都共創推進共同企業体（代表機関：株式会社博報堂）が、企画・調整及び運営を行います。これらの業務を検討会の参加者が負うことはありません。

注2 テーマ型検討会

本検討会と対になるものとして、ヘルスケア関連企業・研究機関等を中心に組成される会議体。取り組む健康課題別に3チーム組成し、本検討会との連携により実証デモ、体験会等を行うことで、自らの有する技術、商材の社会実装をめざす。

<補足>

○北大阪健康医療都市（健都）

吹田市と摂津市にまたがり、JR岸辺駅周辺にある健康・医療のオープンイノベーションが進められている地域。国立循環器病研究センターや健都イノベーションパーク等、オープンイノベーションの拠点整備されている。また、駅前商業施設、健都レールサイド公園等の市民が集まる場が整備されており、「実証フィールド」として活用できる。

英文名では「Northern Osaka Health and Biomedical Innovation Town」（NohBIT）。愛称の「健都（KENTO）」は、循環器病の予防に必要な以下の4つの頭文字を並べて命名された。

K nowledge（正確な知識、知の集積）	E xercise（適度な運動）
N utrition（適切な栄養・食事）	T own（まちづくり）

健都ポータルサイト：<https://co-creation.ken-to.jp/about/>

○健都万博

大阪府のライフサイエンス産業振興事業。大阪・関西万博のインパクトを活用し、健都にオープンイノベーションと社会実装の流れをつくることを目的に、ヘルスケア関連のセミナー・体験会・展示会等、様々なイベントを実施。健都の基本理念の実現を一層加速することで、健都をヘルスケア分野の企業・アカデミアや地域住民等にとってより魅力的な地域とすることを目指す。

令和6年度は、技術展示及びリビングラボに関するセミナーを2024年11月に実施。

大阪・関西万博の開催年である令和7年度は、より規模を拡大して実施予定。

○リビングラボ

生活空間を活用した企業や研究機関の実証実験の場のこと。

また、市民や地域の事業者が主役となり、さまざまな課題の解決のために、新しい技術やサービス、プロダクトを企業等と共創する場のこと。